

公立大学法人長野大学 令和元年度第4回 理事会議事録（概要）

1. 日 時 令和元年7月24日（水） 9：30～12：15
2. 場 所 長野大学 6-401会議室
3. 出席者 白井汪芳（議長）、中村英三、中島豊、森俊也、禹在勇、金子義幸、市村和久、  
小山秀喜（監事）、藤森靖夫（監事）
4. 欠席者 なし
5. 議事概要

（1）議事録署名人の指名

議長から議事録署名人として、中島理事、市村理事が指名された。

（2）協議事項

議案第1号 「社会福祉学部の政策人事について」

事務局から、資料に基づき説明がなされた。審議の結果、原案のとおり承認された。

議案第2号 「公認心理師課程について」

社会福祉学部長から、資料に基づき説明がなされた。審議の結果、以下の指摘から、審議差戻しとされた。

- ・公認心理師に関しては、課程の設置が先行し、理事会で示された課題について未解決の部分があるので、まずは、課題を解消したうえで、現在全学的に策定中の学部・学科改編計画の中に位置づけ、理事会で再確認する。

議案第3号 「環境ツーリズム学部の教員公募〔退職補充〕」

事務局から、資料に基づき説明がなされた。審議の結果、以下の指摘から、審議差戻しとされた。

- ・将来構想（理工系学部の設置等）をふまえると、退職者と同じ領域をあたりまえのように公募するのではなく、学部改組をにらんだ人事を検討すべきであり、このまま補充することには賛同しかねる。将来構想の中で観光分野をどのような位置づけとするのか、明確にしていたいたううえで再度提案いただきたい。

議案第4号 「SEAFDEC との協定」

事務局から、資料に基づき説明がなされた。審議の結果、原案のとおり承認された。

議案第5号 「教員人事評価制度の導入」

担当理事から、資料に基づき説明がなされた。審議の結果、以下の指摘から、当面原案どおり制度を試行する中で、必要に応じ改善していくことで承認された。

- ・評価の4領域のうち、「社会的貢献」を「地域貢献」とすべき。
- ・評価の領域に「グローバル化」を入れるべき。
- ・コメントだけの評価ではなく、A, B, C等の段階別評価とすべき。
- ・目標を設定し自己評価するという本制度において、評価の4領域のうち「大学運営」についてはこのやり方がなじむのかという疑問がある。

議案第6号 「組合からの要求と回答」

事務局から、資料に基づき説明がなされた。審議の結果、原案のとおり承認された。

議案第7号 「名誉教授規程」

事務局から、資料に基づき説明がなされた。審議の結果、以下の指摘があり、審議差戻しとされた。

- ・学術上の功績が特に顕著である例として「ノーベル賞」を明記することの是非について指摘があり、規程に直接載せるのではなく別紙にするなどの工夫をすること。

(3) 報告事項

以下の事項について、資料に基づき報告がなされた。

- ① オープンキャンパス参加、学生募集状況
- ② 新たな高等教育支援制度の機関要件確認申請
- ③ 公立大学法人長野大学内部監査計画
- ④ 事務職員の異動
- ⑤ 学生の夏季休業期間中における事務局勤務の取扱い
- ⑥ コンプライアンス啓発に関する情報提供
- ⑦ 千曲川流域環境・水産研究所（仮称）準備委員の委嘱

以上